

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



今年も田植えの時期を迎え、納内地区を皮切りにJA管内各地域で田植え作業がスタートした。

→記事の詳細は2ページ

JAきたそらちでは、
ホームページとFacebookで、
魅力満載の情報を発信中です！
ぜひ、ご覧ください！

ホームページ



Facebookもチェック



目次

- 水稻直播研究会 播種作業 3
- 管内小学校へ食育教材を贈呈 4
- 地区担当体制のご紹介 8～10
- 営農懇談会 開催 12～13

田植えスタート



5月11日から、納内地区を皮切りに、JA管内各地区で田植え作業がスタートした。

多度志地区では、(株)ピースファーマーミング《代表取締役 大井 研太さん》(表紙写真)が5月12日から作業を始め、GPS自動操舵機能を付けた田植機を使用し7日ほどかけて約30haに「ゆめぴりか」「ななつぼし」「きらら397」「ふっくりんこ」を作付けする。大井さんは、「今年は播種後低温が続き心配していたが、生育も良かったため作業は順調に進んでいる。新型コロナウイルスの影響で米価の下落等も心配にはなるが、好天が続くことを願い、今年も消費者が喜ぶおいしいお米を作りたい。」と話された。

今年度のJA管内では、うるち米ともち米合わせて計約9,650haで作付けする見込み。田植え作業は5月20日頃ピークを迎え、5月末頃まで続く予定。



水稲育苗巡回を実施



4月26日から5月7日にかけて、当JA管内各支所で水稲育苗ハウスの巡回が行われた。支所営農課職員を中心に、支所金融共済課、支所資材課、資材推進課、販売部、また空知農業改良普及センター北空知支所の職員などが班に分かれて、同管内の水稲生産者約650戸を訪問し、苗の草丈などの生育状況やハウス内の保温、灌水方式、今後の育苗管理について確認した。

巡回した職員は、「今年は4月中旬から下旬にかけて天候が安定しない日が多く、ハウスの温度管理が難しいが、育苗は順調に進んでいる。今後も天候や気温に合わせてハウス内の換気や保温など温度管理を行ってほしい」などアドバイスした。

水稻直播研究会 播種作業

5月8日から20日にかけて、水稻直播研究会による今年度の直播播種作業が行われた。研究会では、7名のオペレーターにJA職員が付きGPS自動操舵機能を付けた12条の専用播種機を使用し作業を行った。

同会員32人の水田に「ななつぼし」「ゆめぴりか」「えみまる」のほか、飼料用米の「そらゆたか」などの種粃を作付けた。昨年と比べて面積は20ha増え90haとなった。

JAの担当職員は、「今年から女性を含め新たに4名のオペレーターが加わったが、GPS操舵が付いた播種機のため簡単に播種を行うことができる。また自動で走るので種粃がしっかりと播かれているか余裕をもって確認でき、作業ができる」と話す。



販売部

水稻現地研修会「青空教室」を開催

4月28日に北竜地区、30日に雨竜地区の全12会場で行われた第1回水稻現地研修会「青空教室」が開催され、あわせて約120名の組合員が参加した。

空知農業改良普及センター北空知支所の専門普及指導員とJA職員が講師を務め、苗質向上技術や育苗期間における灌水のポイント、育苗障害防止の注意点などについて説明した。

普及センターの須佐 直係長は育苗ハウスの温度管理について「夜温が高いと苗が通常より長く伸びる徒長の恐れがあるため、夜温には十分注意して頂きたい。」とアドバイスした。参加者は、出芽状況や育苗期間の灌水について意見や情報を交換した。



北竜地区



雨竜地区

春作いちご

出荷スタート



4月25日、きたそらちの春の味覚を代表する果実、春作いちごの「けんたろう」が初出荷を迎えた。この日は納内地区の尾郷勝さんより8パック出荷された。春先の好天により例年より2週間ほど早く、昨年と比べ9日早い出荷となった。

当JA管内の春作いちごは、「けんたろう」と「ゆきうら」の2種類があり市内2戸の生産者で約3,000株を栽培しており、6月中下旬頃まで出荷される。道内近郊市場に出荷し、道の駅「ライズランドふかがわ」当JA農産物直売所「eciR」などに並ぶ。

【青果部 植田】



青果部



初出荷した尾郷 勝さんの父 敏明さん

直売所eciRからのお知らせ

6月より営業時間が下記の通り変更となります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、営業時間を変更する場合がございます。

6月から9月までの営業時間：9：00～19：00



管内小学校へ 食育教材を贈呈

農業
振興部

当JAは管内小学校10校に、JAバンクが制作した食育教材「農業とわたしたちの暮らし」を贈呈した。この教材は、農業や食、環境、またそれらに関わる経済活動などをイラストや写真、グラフでわかりやすく表現しており、次世代を担う子どもたちに農業への理解を深めてもらおうと、平成20年から毎年継続して贈呈を行っている。

今年は5月10日に柏木孝文組合長が深川市立音江小学校を訪問し、同校5年生に教材本20冊とDVDを贈った。教材を受け取った同校の中嶋利啓学校長は、「今後予定している田植え体験学習等の農業に関する授業に、寄贈頂いた教材本やDVDを結び付けた授業を行っていききたい。農業の町深川で身近な農業についての知識を深め、生徒に関心を持ってもらいたい。」と話された。



令和3年度

北育ち元気塾第2回研修会 開催

農業
振興部

4月20日、拓殖大学北海道短期大学にて令和3年度「北育ち元気塾」の第2回研修会が開催され、元気塾生14名が出席した。

空知農業改良普及センター北空知支所の田川洋一支所長より「北空知の農業」をテーマにについて講義をいただき、空知の作付状況や北空知の主要作物、農家戸数が減少し1人1人の負担が大きくなっていることなど特徴や課題について話をいただいた。

続いて、拓殖大学北海道短期大学の岡田佳奈子准教授より「土壌の基礎」と「土壌断面調査」について講義及び実習をいただいた。

講義で土壌の種類や土づくりなどの基礎を学んだ後に、同大学のほ場にて土壌断面調査を行い、土の性質を調査した。

岡田准教授は「土壌断面調査は、土層における水の挙動、作物の根の伸長阻害や透水不良な層を把握することができ、作物を生産するうえで重要な情報を得ることができるため、自分のほ場でも試してほしい」と話した。

ほとんどの塾生が土壌断面調査を行ったことがなく、貴重な体験ができたと塾生は感想を述べた。

【営農企画課 石野】



青年部一已支部

密播(高密度播種苗移植栽培) 播種作業を視察

4月20日、青年部一已支部（大井賢太郎支部長、部員24名）が営農学習会を実施し、部員8名が参加した。今回は一已地区水稻生産者の中で密播（高密度播種苗移植栽培）に取り組んでいる五十嵐剛氏の播種作業を視察した。密播は慣行のポットと比較して種籾が多く必要になるため導入コストが高くなるが、移植期間の短縮や労力削減などのメリットが多いことなどを説明して頂いた。

大井支部長は、「人員の確保が難しくなっている昨今、こういった工夫も検討していくことが大事だと感じた。コロナ禍で活動が制限された中ではあるが今後も青年部活動へのご理解とご協力をお願いしたい。」と話す。

【米穀課 松田】



青年部
だより



雨竜支所

『雨竜支所 谷本徹さん 飼料用米多収日本一コンテストで 北海道農政事務所長賞を受賞』

（一社）日本飼料用米振興協議会及び農林水産省主催の『令和2年度飼料用米多収日本一コンテスト』が開催され、当JAの直播研究会に所属している雨竜町の谷本徹さんが「北海道農政事務所長賞（単位収量部門 直播）」を受賞した。

このコンテストは、飼料用米生産農家の生産技術の向上を目指し、多収を実現している先進地で、他の模範となる経営体を表彰するもので、多収品種をおおむね1ha以上生産し、生産コスト低減に取り組む、道内生産者の中から谷本さんが表彰された。

4月14日には、北海道農政事務所の山田英也所長が雨竜支所を訪れ、谷本さんへ賞状が直接授与された。

表彰を受けた谷本さんは、「平成26年から直播に取り組み、平成30年より飼料用米品種のそらゆたかを直播で作付している。育苗施設と労働力には限りがあり、移植と直播で作付け期間をずらすことで規模拡大もできる。今回の受賞を機に更に高みを目指して頑張っていきたい。」と話された。

【雨竜支所 米倉】



JAきたそらち営農センター増築工事 起工式開催

5月13日、JA営農センター駐車場において『JAきたそらち営農センター増築工事 起工式』を開催した。

現在のJAきたそらち本所は、旧JAイチヤン（深川市北光町1丁目）の事務所を使用しており、築60年以上が経過、建物の老朽化が進行し、特に2018年の胆振東部地震により状況はさらに悪化し、早急に対応が求められた。

本所の建て替えを検討する中において、将来に向けてJAのより効率的な体制整備を図っていくこととし、JAの本所機能を営農センターに集約し、営農から金融まで組合員のワンストップ対応が可能な体制づくりを整備することとした。

工事は、現営農センターの西側に、鉄骨平屋建て636.4㎡の会議室等を増築し、併せて現営農センター内部の改修を実施する。

起工式には、来賓、設計管理業者、施工業者など、現在のコロナ禍の状況を踏まえ最小限の参列を頂き、施主である、JAきたそらち柏木組合長は、「厳しさが増す農業・農協情勢の中、持続可能な地域農業に向けて、JAの本所機能を集約し、より組合員にとって効率的な建物を整備する。この営農センターが将来にわたり、組合員にとって使いやすく、組合員に集っていただける施設を目指してまいりたい」と述べた。

工事は令和3年11月に増築部分の完成・引渡し、令和4年1月に改修工事の完成・引渡しを予定している。なお、金融共済店舗は、現在の本所に隣接するホクレンショッピイチヤン店内に移設し営業するとともに、現在の本所建物は令和4年夏ごろに解体を予定している。



工事の安全を願い、
鍬入をする柏木組合長

総務部

中核人材養成塾 「サムライ塾2期生」開講



組合員および地域の生涯にわたって近くにある存在のJAであるために、「なくてはならない職員づくり」「今後のJAをよりよくするための仲間づくり」を目的として開講したサムライ塾。一昨年にスタートした1期生が本年1月に約2年間のカリキュラムを終えて修了を迎え、本年度からは2期生によるサムライ塾が4月28日に開講した。

当日の開講式では塾長の岩田清正専務より激励を受け、その後は石田邦雄先生より、「サムライ塾2期生のスタートにあたって」～組織を変える、職場を変える、自分を変える～と題して講義を受講。終わりにには塾生リーダーに選任された梅村大輔主査より今後の決意表明が語られた。

同塾は35歳から38歳までの7名により、2年間で18回のカリキュラムを実施する。

【人事課 中川】

※受講生名簿

金融共済音江支所	梅村 大輔	農業振興部振興課	佐野 雄平
担い手支援室	一戸 栄治	販売部農産課	蓑口 達矢
経済部資材課	中村 哲也	深川支所深川米穀施設課	小島 和也
雨竜支所営農課	伊藤 勝成		



総務部

若手人材養成塾 「自分塾・一般職編」開講



主体的に活動し成果を出し続ける若手職員育成に向け、仕事や役割等の活動領域を拡げることがを目的に、入組5年前後の若手職員12名を塾生として指名し、4月27日「自分塾・一般職編」を開講した。

当日の開講式では柏木孝文組合長並びに塾長の岩田清正専務より激励を受け、その後の講義では石田邦雄先生より、「自身の振り返りと主体性を発揮するための役割認識」～作業から仕事へ、仕事から志事へ～と題して、個人研究やグループワークを交えて学んだ。

本塾はサムライ塾1期生が企画し本年度より実施する「食農教育事業」の運営にも携わることであり、1年間で11回のカリキュラムを実施する。

【人事課 中川】

※受講生名簿

金融共済多度志支所	植田 愛	金融共済雨竜支所	青山 慶生
金融共済幌加内支所	齋藤 悠介	金融共済北竜支所	北島 亜美
総務部総務経理課	古川 和也	販売部農産課	辻 聖也
販売部畜産課	松原 健太	経済部資材推進課	中村 敦洋
経済部音江整備工場	福田 卓真	深川支所営農課	荒井 悠志
雨竜支所営農課	佐野笑弥子	北竜支所営農課	山田 雅典



地区担当体制のご紹介



JAでは、組合員と共に地域農業を振興し、より良いJA運営に向けて、地区担当体制を整備しています。

今後、全戸巡回等を通じて組合員一人ひとりとの情報交換・ビジョンの共有を図ってまいりますので、よろしくお願いします。

つきましては、本年度の地区担当職員及び作物別・部門別の担当職員をご紹介します。

音江地区



【上段・左より】宇野 誠一 課長（深川支所営農課）
松本 大輝 係（深川支所営農課）
田中 里枝 係（深川支所営農課）
森島 直樹 主査（振興課）
【下段・左より】遠藤 茂夫 主査（資材推進課）
越智 順哉 課長（資材推進課）
前田みゆき 課長（金融共済音江支所）
梅村 大輔 主査（金融共済音江支所）

メム地区



【上段・左より】上月 洋 調査役（深川支所営農課）
齋藤 直寛 主査（深川支所営農課）
小島 和也 係（深川米穀施設課）
中原 淳 主査（米穀課）
【下段・左より】中村 敦洋 係（資材推進課）
遠藤 茂夫 主査（資材推進課）
小野寺修一 課長（金融共済深川支所）
大島 幸男 調査役（金融共済深川支所）

一己地区



【上段・左より】渡辺 康貴 調査役（深川支所営農課）
荒井 悠志 係（深川支所営農課）
堀口知江美 係（深川支所営農課）
板見 秀二 係（深川米穀施設課）
佐野 雄平 主査（振興課）
【下段・左より】白川 航 係（営農企画課）
田中 嘉浩 主査（資材推進課）
正田 佳子 主査（資材推進課）
山田 雄樹 主査（融資課）
戸嶋 凌太 係（融資課）

納内地区



【上段・左より】吉田 拓哉 主査（深川支所営農課）
藤井 静代 係（深川支所営農課）
一戸 栄治 主査（担い手支援室）
【下段・左より】越智 順哉 課長（資材推進課）
田中 嘉浩 主査（資材推進課）
太田 久志 課長（金融共済納内支所）
高瀬 伸一 主査（金融共済納内支所）

多度志地区



【上段・左より】斉藤 基 調査役（深川支所営農課）
岡林 良幸 課長（深川米穀施設課）
谷内 健二 主査（担い手支援室）
石野 泰誠 係（営農企画課）
【下段・左より】正田 佳子 主査（資材推進課）
中村 敦洋 係（資材推進課）
平山 直樹 課長（金融共済多度志支所）
佐々木美香 主査（金融共済多度志支所）
中村 元 係（金融共済多度志支所）

雨竜地区

南盛



【左より】米倉 亮 主査（雨竜支所営農課）
田中 大治 主査（雨竜資材課）
青山 慶生 係（金融共済雨竜支所）

東栄



【左より】堀口 敦暉 係（雨竜支所営農課）
中川 留美 主査（雨竜資材課）
青山 慶生 係（金融共済雨竜支所）

西



【左より】川田 博行 課長（雨竜支所営農課）
加賀美政俊 課長（雨竜資材課）
玉置 将督 係（金融共済雨竜支所）

中央



【左より】伊藤 勝成 主査（雨竜支所営農課）
加賀美政俊 課長（雨竜資材課）
玉置 将督 係（金融共済雨竜支所）

本牧



【左より】藤本 篤 係（雨竜支所営農課）
田中 大治 主査（雨竜資材課）
長谷川正治 課長（金融共済雨竜支所）

北友



【左より】佐野芙弥子 係（雨竜支所営農課）
小田嶋祐牙 係（雨竜資材課）
長谷川正治 課長（金融共済雨竜支所）

北竜地区

碧水・ 岩村



【左より】渡辺 拓也 調査役（北竜支所営農課）
阿部 龍弥 係（北竜資材課）
小笠原 清 審査役（金融共済北竜支所）

美葉・ 古作



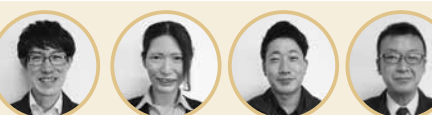
【左より】荒田 勇次 課長（北竜支所営農課）
尾崎 壮 係（北竜支所営農課）
平山 幸子 主査（北竜資材課）
松井 修司 課長（金融共済北竜支所）

板谷・ 和



【左より】高榮 政輝 係（北竜支所営農課）
武田 裕二 課長（北竜資材課）
古木 亮裕 係（金融共済北竜支所）

西川・ 三谷・ 恵竜



【左より】山田 雅典 係（北竜支所営農課）
内村 奈緒 係（北竜支所営農課）
長内 大貴 係（北竜資材課）
松井 修司 課長（金融共済北竜支所）

幌加内地区

南幌・ 幌中



【左より】前田真作之 課長（幌加内支所営農課）
岩本貴誉恵 主査（幌加内支所営農課）
齋藤 悠介 係（金融共済幌加内支所）

幌中・ 幌里



【左より】小野 斉 審査役（幌加内支所営農課）
嶺岸 智也 係（幌加内支所営農課）
前野 尚弘 課長（幌加内資材課）
本田 幸永 課長（金融共済幌加内支所）

幌里・ 北幌



【左より】墓田 準也 主査（幌加内支所営農課）
宮田 大輔 係（幌加内資材課）
麻生 浩伸 係（金融共済幌加内支所）

事業部 地区担当・作物別担当

金融共済部渉外課

音江地区



上埜 祐輝 係



千石 倅輔 係

メム地区



伊藤 信一 調査役

一已地区



岡部慎一郎 係



安藤 理沙 係



千石 倅輔 係

納内地区



飯沼美智子 主査

多度志地区



安藤 理沙 係

※基幹支所は、支所金融共済課が担当いたします。

販売部農産課

※主担当作物に◎、サブ担当に○



秋山 眞輝 課長
◎そば



蓑口 達矢 主査
◎小豆・雑穀
○小麦・大豆
そば



三宅 創 主査
◎小麦・大豆



千葉 智広 係
○小麦・大豆
雑穀



辻 聖也 係
◎馬鈴薯



渡部 翔也 係
◎てん菜
○そば

青果部青果課

深川市内担当



河原 秀昌 課長
◎玉ねぎ
○胡瓜
ミニトマト
にんにく



川本 雄太 主査
◎北斗メロン
胡瓜
インゲン
豆類
○マダーボール
スイートコーン



楠木 貴博 主査
◎長いも
南瓜
アスパラ
トマト
百合根
にんにく
ほうれん草



柏倉 隆芳 係
◎旬菜



植田 隼斗 係
◎いちご
ピーマン
長ネギ
ミニトマト
果樹
ワインブドウ



藤川 憂也 係
○旬菜



雨竜地区担当



浅沼 昭博 主査
◎暑寒メロン
マダーボール
スイートコーン
○長ネギ
インゲン
南瓜
アスパラ



北竜地区担当



三品 正則 主査
◎ひまわりメロン
ひまわりすいか

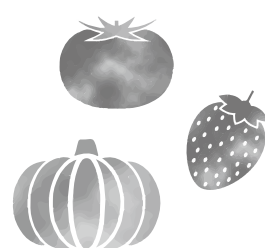


稲田 集哉 係
○ひまわりメロン
ひまわりすいか
いちご
インゲン
アスパラ
トマト
スイートコーン

幌加内地区担当



楠木 貴博主査
◎南瓜
百合根





石田邦雄の

農業紡ぎ愛

第14回

新入職員を迎えるにあたって

J Aきたそらちにも、今年度も頼もしい新入職員が7名入組しました。ご承知の通りコロナ禍以前は、長年、労働力の売り手市場が続き、企業にとっては「人の確保」が喫緊の課題だったと思います。それが「1000年に1度」といわれる厄災で、多少、緩みつつあるとはいえ、7名の職員を新たに迎えることができたのは、ある意味、J Aきたそらちが持つ、組織の力ではないでしょうか。この7名が一刻も早く職場に馴染み、首尾よく定着をし、将来のJ Aを担ってくれる。そんな「人財」に成長してくれることを願ってやみません。ところでこの2月に後期高齢者の仲間入りをした私ですが、孫同然の年齢にあたるこの新入職員諸君に4月初旬、講義をさせて頂きました。彼(女)らの研修における発表などを聞いていると、私自身の新社会人の頃と比較すると、「こうして」として、随分としっかりしているなというのが正直な感想です。今後、各人が、真っ白な心のキャンパスに、どのような絵を描き、色を塗っていくか。それは彼ら自身の向かい方ももちろんありますが、それを迎える上司や先輩、更には組合員の皆さんとの関係性が大きく影響してきます。今後、フォローアップ研修や個別面談等で、かわいい孫達に会うことになっており、成長した彼らとの再会が今から楽しみです。

「学ぶことは真似ること」といわれるように、よくも悪くも周りをモデルにして育つのです。もう一つが「代理強化」といい、これは褒められたり、叱られたりする周りの状態などをみながら、自らの行動等を決めていくことです。これらが人を変え、成長をさせる大きなきっかけになります。これに照らし合わせると、さてJ Aきたそらちは、あるいは皆さんの農場等はいかがでしょうか？

ここでそれに関連して3年ほど前から関わった対照的な二つの農業法人を例に話を進めましょう。どちらも今から20年ほど前に有限会社として近隣農家が集い経営を進める同程度の規模の牧場です。まずはA社。ここでは4年ほど前に、期待を育てた社員の一人が退職。それにシヨックを受け、「なんとか辞めない会社を作りた」と相談を受けてからの付き合いになります。以降、人の確保や定着化にも真剣に向き合い、人育てにおいても隔月で、組織の進展度合いに合わせながら計画的に研修を行い、評価制度も導入するなど、人づくりに非常に熱心です。その甲斐あってか、今年度は大卒の新入社員4名を採用。ここにきて花開いてきた感があります。

また、内定を決めた以降も、少しでも早く社会に馴染んでもらおうと、会社負担でeラーニングによる通信教育を受講させたり、入社前研修をセットするなど、「人を大切にしたい」という思いが経営の根幹に感じ取れます。とりわけ特筆すべきは、彼女達が入社する直前の3月31日、年度末で忙しい中にも関わらず、新入社員を迎える側としての、上司や先輩社員に、改めて「組織人としての基本に帰る」ということで、心構え等で全社員研修会を行っていることです。次にB社です。

こちらも同時期からのお付き合いになるのですが、A社とは対照的に、いつも「ヒト」で苦しんでおり、それを補う形でベトナムからの実習生に頼らざるを得ないのが実情です。そんなB社ですから、仮に研修一つとつても一貫性がなく、行き当たりばったり。また、せっかく学んだにしても「それを役立てよう」とい気構えが希薄で、例えば、「5S整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」の徹底で講義をしても、役員の机周りが相変わらず汚かったり、更には全員で何かの決め事をして、簡単に破るのが管理者であつたり、と。こうした状態で仮に新入社員研修を行ったにしても、「朱に染まれば赤くなる」の例えにもあるように結果は目にみえています。そこで今年度の新入社員研修をB社から依頼された際、「これまでの管理レベルにメスが入らないなら、講義をしてもあまり意味がないのでお断りします」と、あえて、企業として問題意識をもってもらうことも期待をし、お断りの返事をさせて頂きました。この2社を比べてみると、同じ「ヒト」でも、A社は「人財育成をどうするか？」であるのに対して、B社は「人手確保に四苦八苦している」ように思えてなりません。この違いの原因は従業員個々というよりも、むしろ企業としての仕組みづくりや、トップ層を初めとする意識の違いが大きいように感じます。それが「人の格差」を生み、結果、「企業の格差」にも結びついていると思えてなりません。そこでこれを他山の石にして、次の言葉を再確認したいと思います。「人は、人によって、人になる」と。そうすると「自律型職員を育てられるのは自律型上司(先輩)」といつても過言ではないと思われます。さて、あなたはいかに？

【著者】石田邦雄 (いしだくにお) 氏

1946年北海道新得町生まれ。(有)石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかり易い研修が特徴。著書に「産業力コンサルティング」や「縁を紡ぎ、人を育む」など多数。



営農懇談会開催

令和3年3月12日～3月18日

各地区で行われました懇談会内容をお知らせ致します。

●意見要望事項
●対応等

総務関係

●深川市が人口減少するなか、農業人口減少に対しJAはどのような対応を考えているか。

●担い手となる農家戸数の減少に対応できるよう経営コストの削減を考え、将来的には体制をスリム化し、各地区の組合員対応ができるような体制を目指して参ります。

●FAXをスマートフォンで確認したいが、iPhoneでは見る事ができないので改善願いたい。また、LINEを活用した情報発信についてどのように考えているか。

●iPhoneの「safari」から閲覧が出来ませんが、グーグル「Chrome」から閲覧可能ですのでインストールし活用願います。また、LINEでの情報発

信は令和3年度内に提示することが出来るよう取進めて参ります。

●営農懇談会の出席率が低い、出席率を上げる努力をした方が良いのでは。

●新型コロナウイルス感染防止対策としての資料事前配布により、このような出席人数になっていることも一つの要因であると理解しています。今後は、十分な感染防止対策をとりながら、組合員の皆様に出席して頂けるよう呼び掛けして参ります。

●出資増口で通常増口を求められている。出資金配当率を上げて出資増口を促してはどうか。

●現行、剰余金の範囲内で出資金配当率を決定していますが、令和2年度の配当率は令和元年度と同様の率が妥当と判断致

しました。今後、配当財源が増加していけば、その都度出資金配当率を検討して行きたいと考えます。

●事業管理費の「研修教育費」について、役員に對するものなのか職員に對するものなのか教えて欲しい。

●役員対象の費用となつていきます。令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり、外部講習会や研修会が中止となりましたが、環境が改善されれば計画に基づく研修教育を進めて参ります。更に若年層や女性職員を対象とした研修会等も検討しており、職員の能力向上は必須と考え、積極的に研修教育を進めて参ります。

●本所貯金店舗移転の際、

名称は「本所」から変更となるのか。貯金通帳の扱いはどのようになるか。

●移転後も貯金店舗は本所機能を有しているため、名称は「本所」とさせていただきます。貯金通帳はそのまま使用可能です。

農業振興関係

●JAの新規就農に係る会議に参加したが、まだまだ受入農家が足りない。JA役員や地域の指導農業士にも受入農家として積極的に参加していただきたい。(要望事項)

●地域農業を守るための貴重な意見として参考にさせていただきます、取進めて参ります。



●米の需給緩和について、北海道は特に生産の目安(生産調整)に協力してきたが、生産の目安を守らない他県に對する国の対応について、JAグループ北海道の対応を聞かせ願いたい。

●現在の需給緩和は過剰作付けが要因であると、昨年来から本道選出の議員を通じ農水省へ要請しています。JAグループ北海道の要請が受入られていないのが現状です。また、その後の農水省担当職員との懇談において、現行の米政策の見直しと平成29年産を基点とする生産の目安設定(生産調整)について要請を行っており、これらも受入られています。今後は、令和4年度農業予算概算要求の折にJAグループ北海道として要請を行って参ります。

●主食用米の販売状況は厳しい状況だと思いが、今後、加工用米や飼料用米等の作付けに移行していかねければならなくなるのか教えていただきたい。

●今後、詳細が分かり次第お知らせいたします。

●RTKを使用するまでアンロック等のハードルが高いので、何らかの助成金を検討して欲しい。

●アンロック費用については、GPSガイダンスのアップグレード又はオプション的機能に属し、使用許諾権の意味合いがあることから、より精度の高いGPS補正信号を受信することに對しての助成措置は現在のところ考えておりません。

●RTKについて、深川地区は営農センターに基地局があるが、私の圃場は納内の端に位置し、基地局から離れているが電波は大丈夫なのか。また、RTCM3はどのような機種でも対応しているか。

●基地局の設定に関しては管内を網羅できる場所を選定し、現在に至っています。ただし、携帯電話の電波がつかない不感地帯(中山間地域等)は利用できないので、ご理解いただきたい。また、補正信号(RTCM3)に適應するガイダンスとして、トリンプル、トプコン、アグリバスナビ等があります。

販売関係

●水張り面積を増やすという地域目標に向かって進めていきたいが、温床ハウスが足りず断念している。温床ハウス増設・更新に對する助成を要望します。(要望事項)

●温床ハウスの助成金を検討した経過にあります。が、助成割合などの考え方が難しい状況です。JA全体として皆さんが満足する結果になるか分かりませんが、今後検討させていただきます。また、水張り面積の拡大ポイントとなるのは育苗・移植が重要と認識しており、問題解決に向け検討して行きます。

トとなるのは育苗・移植が重要と認識しており、問題解決に向け検討して行きます。

●米を含めた農産物価格の下落が心配され、そばが安く畑の輪作が組みにくい。今後の販売をどのように考えているか、方向性をお聞かせ願いたい。

●第7次農業振興計画では、米を基幹作物とする販売計画となっており、組合員の皆様にも米の作付増に協力依頼をさせていただきました。コロナ禍で米価下落の不安の声も聞いています。また、国からの要請はまだ来ていませんが、3月に入り情勢が変化しており、主食用米から飼料用米への転換の話もあり、今後注視しなければならぬ状況であります。

●そば新品種の特性を教えていただきたい。

●成熟期は「キタワセ」と変わりますが、刈り取り適期が分かりやすいと聞いています。麵にした

際の色など見栄えが良く、食味も「キタワセ」と遜色ないとの評価です。種がまだ足りていない状況です。ので、種子が十分供給できる状況になり次第、「キタワセ」から品種を変更していただきたい。

●そば生産組合設立について、今後各地区のブランドを一本化し販売していくことになるのか。

●具体的には今後協議のうえ取り進めて参ります。

●小麦、大豆については生受入をしているが、そばについても生受入できないか。

●生受入可能な施設を建設した場合、生産者負担が大幅に増えるため、現状では難しい状況です。今後、地域の現状を聞取りし、より良い体制を検討して参ります。

金融共済関係

●クミカン利息が変更になったが、そのことによ

りJA経営や組合員に負担が掛かることはないのか。

●他行より金利が高いイメージがあり、全体を考えたうえで組合員負担軽減のため、一部金利を引き下げ致しました。

深川支所

●米の自主検査規格の変更は可能か。今後、集荷率の維持拡大を図るには何か方策を検討しなければならぬのでは。

●昨年、色彩選別機が一新したことにより製品歩留まりが向上し、自主検査要領の一部変更を行って参りました。今年度も状況に應じ検討して参ります。

●深川マイナリーが稼働してからの共済基準単収に對する集荷率の推移を教えてください。(要望事項)

●後日調べてお答えいたします。

農業振興部からのお知らせ

巡回ドックのご案内

あなたの健康は家族の幸せの第一歩!!
年1回のドック受診をおすすめいたします。

巡回ドック日程と場所

8月4日(水)	J Aきたそらち 営農センター	深川市メム10号線山3線
8月5日(木)	J Aきたそらち 雨竜支所	雨竜町字満寿30番地の193
8月6日(金)	J Aきたそらち 北竜支所	北竜町字和36番地3

巡回ドック健診項目

※以下項目は、一定の基準により医師が必要と認めた場合に実施します。

基本的な項目 特定健診、がん検診

心電図、眼底検査、貧血検査、血清クレアチニン検査

巡回ドック検診料金

※加入保険により検診料金が変わります。

市・町	国保	後期高齢者医療	社保(本人)		社保(家族)	
			34歳以下	35歳以上	39歳以下	40歳以上
深川市	17,270円	17,270円	16,500円	18,865円	16,500円	17,270円
雨竜町	19,570円	18,932円	16,500円	18,865円	16,500円	18,932円
北竜町	17,160円	17,160円	16,500円	18,865円	16,500円	17,160円

※国保で39歳以下の方は16,500円となります。

市・町・JAの助成後の検診料金

※JA助成金(5,000円)対象は、正組合員及び同居している家族・農業に従事している家族です。
准組合員の方は対象外です。
※社会保険の方の金額は、協会けんぽへ申込後の金額です。

○深川市

年度末年齢	国保	後期高齢者医療	社保(本人)	社保(家族)
34歳以下	11,500円	-	11,500円	11,500円
35歳～39歳	11,500円	-	2,169円	11,500円
40歳～74歳	0円	-	2,169円	0円
75歳以上	-	2,150円	-	-

※以下項目を、一定の基準により医師が必要と認め検診を実施した場合は別途料金がかかります。ただし、国保で40歳～74歳の方は市の助成があります。心電図1,430円、眼底検査638円、貧血検査232円、血清クレアチニン検査110円

○雨竜町

年度末年齢	国保	後期高齢者医療	社保(本人)	社保(家族)
29歳以下	11,500円	-	11,500円	11,500円
30歳～34歳	3,030円	-	3,030円	3,030円
35歳～39歳	0円	-	2,169円	0円
40歳～74歳	0円	-	2,169円	0円
75歳以上	-	0円	-	-

○北竜町

年度末年齢	国保	後期高齢者医療	社保(本人)	社保(家族)
34歳以下	11,500円	-	11,500円	11,500円
35歳～39歳	11,500円	-	2,169円	11,500円
40歳～74歳	5,010円	-	2,169円	5,010円
75歳以上	-	12,160円	-	-

※以下項目を、一定の基準により医師が必要と認め検診を実施した場合は別途料金がかかります。

心電図1,430円、眼底検査638円、貧血検査232円、血清クレアチニン検査110円

*****留意事項*****

- 各市町からの助成を受けるためには、検診結果が各市町に提供されることに同意する事が必要です。
- 上記以外に前立腺がん検診やB型・C型肝炎検査などのオプション検診が用意されております。
- 令和3年4月1日以降発行の「特定健康診査受診券」を、すでに掛かりつけの病院等で使用された方につきましては市町の助成金はありません。
- 巡回ドック受診の際には「健康保険証」と「特定健康診査受診券」を忘れずにご持参下さい。
- 新型コロナウイルス感染防止対策として受付時間と人数を指定させていただきます。

待合スペースの密集状態防止措置のため、ご希望時間に添えない場合がございますが何卒ご理解の程お願いいたします。

☆お申し込み方法や日程などの詳細につきましては、各支所の人間ドック担当者へお問い合わせ願います。

腰部脊柱管狭窄症について

みきた整形外科クリニック 院長 三木田

光



この疾患は高齢者の下肢痛、歩行障害の原因として最も一般的な疾患です。腰椎部の脊柱管が狭窄状態になり、馬尾神経や神経根が圧迫され神経刺激症状や神経脱落症状を呈するものです。病態としては加齢変化による脊柱管狭窄、椎間板は水分を失い脊柱管内にせり出す。それとともに脊柱管後方にある黄色靱帯もたわみ脊柱管内にせり出す。また脊柱管の側方にある椎間関節も加重負荷から起こる変形性関節症変化を呈し、骨棘の形成や骨増殖をきたし、脊柱管の側方および後方を占拠するようになる。馬尾、神経根が脊柱管中心部で絞扼される馬尾型（多根性障害）と、神経根が外側陥凹や椎間孔部で絞扼される神経根型（単根性障害）に大別される。

症状・臨床所見 歩いていると臀部から大腿・下腿に痛みやしびれが強くなって歩けなくなり、しばらく休むとまた歩けるようになるという神経性間歇跛行が典型的症状である。このような症状は、日常生活の中で例えば台所での立ち仕事や仰臥位での長時間間寝しているときにも起こる。腰椎の前彎が強調される姿勢や動作にて起こる症状で、診察の際に腰を伸展すると同様の症状が誘発されることが多い。神経学的には、軽症の場合は上記の神経刺激症状のみで神経学的所見は呈さないが、重症の場合には筋力低下、深部腱反射の低下または消失、知覚鈍麻など神経脱落症状も呈する。さらに会陰部の異常感覚、尿意切迫、尿失禁、便失禁などの膀胱直腸障害を呈することもある。

診断・分類 問診による間歇跛行の症状を把握することが最も大切である。間歇跛行には、閉塞性動脈硬化症にみられる血管性の間歇跛行があるため鑑別が必要となる。足背動脈などの血流チェックは必要である。検査にはレントゲン撮影が腫瘍性病変、炎症性病変除外のため必要であり、またすべり症など脊柱管狭窄の原因となることもあり必須検査である。脊柱管の狭窄状態を判定評価するならMRIが最も診断的価値がある。手術を考える場合には脊髓造影CTの診断的価値が高い。神経学的検査による他覚的な神経障害の状況と自覚症状によって馬尾型、神経根型、混合型に分類される。しかし神経症状とMRIなどで判定される狭窄部位とは必ずしも一致しない。この点は椎間板ヘルニアとは異なる。脊柱管狭窄症の症状発現には、神経の機械的な圧迫に加え、不安定性による動脈圧迫や神経への血流障害が関与しているためと考えられる。治療は保存的治療が中心となりますが進行性の筋力低下、馬尾神経症状を呈する場合には手術的治療を選択します。間歇性跛行を呈する方は整形外科でご相談ください。





酪農学園大学とJA北海道中央会は、4月15日に調印式を行い、相互連携協力を推進する協定を締結いたしました。この協定は、学生と生産者の学外農場実習に係る事業連携・協力を行うことで、教育と農作業支援の両立を図り、ひいては学術の振興及び農業の発展並びに地域社会の活性化に資することを目的としています。

具体的な取り組み内容としては、酪農学園大学が実施する学外農場実習について、JAグループ北海道が実習先の農場を紹介する予定としており、これによって、100名以上の学生が学業と農業を並行して経験する「パラレルノーカーク」にチャレンジすることにもつながります。また、酪農学園大学がこれまでの研究で得た環境分野・酪農畜産分野・循環農学分野に関する知識や技術を活用し、スマート農業の普及についても協力して取り組みます。



JA 北海道信連



JAバンクでは、次世代を担う子供たちに向けた食農教育への支援として、補助教材本「農業とわたしたちの暮らし」、および教材本の理解をより深めるためのDVDを作成し、全道の小学校・特別支援学校に贈呈する「JAバンク食農教育応援事業」を毎年実施しています。令和3年度においても、北海道教育委員会等のご理解、ご協力のもと、全道1,020校の小学5年生（約4万人）、18校の特別支援学校へ、道内各地のJAを通じて教材本等の贈呈を行いました。



JA 共済連北海道



JA共済では、『「医療共済メディフル」資料請求キャンペーン』を実施しております。JA共済ホームページから「医療共済メディフル」の資料をご請求いただいた方に、有村架純さん・浜辺美波さんが表紙の「オリジナルA5ノート」をもれなくプレゼントしております。キャンペーン第1期は令和3年9月30日（木）までです。

この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお願いしております！

JA共済ホームページアドレス
<https://www.ja-kyosai.or.jp/>



ホクレン



ホクレンはこのほど、社会貢献活動の一環として、北海道日本ハムファイターズと共同で、札幌市内の児童養護4施設の子どもたちに、公式戦のチケットなどをプレゼントしました。贈呈セレモニーでは、ホクレンの箱石文祥専務がチケットの目録を、またファイターズのマスコットキャラクターのB・Bが、田中賢介スペシャルアドバイザーの直筆メッセージ付きサイン色紙やファイターズグッズを児童・生徒代表に手渡しました。



JA 北海道厚生連



北海道厚生連本部のオフィスでは、今年度よりJAで生産されたお花を飾っております。彩りあざやかなお花があると雰囲気が華やき、活力が湧いてきます。

綺麗なお花は生産者さまの苦勞によって在るものという感謝を忘れずに、日々業務に励んでまいります。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。
AGRIACTION!
HOKKAIDO





鶏むね肉の北海道♪チーズロール
材料(2~4人分)
・「よつ葉北海道十勝」1003種のチーズ餅
・鶏もつアレアフレンド...50g
・鶏むね肉(皮なし)...200g
・アスパラ(細め)...3本
・塩、コショウ、各少々
・オリーブオイル...適量
・イタリアンパセリ...お好みで

北海道コンサドーレ札幌選手寮

しまふく寮の レシピ紹介

北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道は

食農パートナーです!

Vol. 1

「レンジで! 鶏むね肉の
北海道♪チーズロール」

高橋朋樹選手



「トマトソース」
・ダイスカットトマト缶(1/2缶)200g
・玉ねぎ(1/8個)20g
・オリーブオイル・大さじ1
・コンソメ(顆粒)・小さじ1/2
・塩・小さじ1/4
・砂糖・小さじ1/4
作り方
①「よつ葉北海道十勝」1003種のチーズ餅
・鶏もつアレアフレンド」を使います。
②耐熱ボウルに「トマトソース」の材料をすべ
て入れて混ぜ合わせ、ラップをせずに電子レン
ジ(600W)で4分加熱する。
③②の全体を混ぜ合わせ、再び3分加熱して盛
り付け皿に移す。
④アスパラを下ゆでして、15cm程度の長さにな
るように下を切りそろえる。
⑤鶏肉は皮がついていない面を下にして適量、切り
込みを入れて両側の厚みを聞き、軽く開きにする。
⑥⑤に大きめに切ったラップをかぶせ、肉たた
きやめん棒でたたいて厚さをそろえながら、18
cm四方の大きさに薄く伸ばす。
⑦ラップを2枚重ねにして鶏肉よりも大きくし
き、皮目を下にして乗せ、塩、コショウをする。
⑧⑦のアスパラと「よつ葉北海道十勝」1003種
のチーズ餅・鶏もつアレアフレンド」を乗せる。
⑨ラップごと手前から巻き、中身が出な
いように鶏肉の両端を少し内側に折りこむ。

北海道コンサドーレ札幌の管理栄養士
小松先生のコメント
鶏むね肉からたんぱく質とビタミンB6、
もつアレアフレンドからたんぱく質とビタ
ミンB2、カルシウムを摂れるので、体づく
りやリカバリーに使えるレシピです。試合
や練習が早く終わった日の「リカバリーお
やつ」や19時頃の夕食に適しています。皆
さんもぜひ、お試しください。

⑩のり巻きを作る要領で手前から戻しながら、ラ
ップで包んでしっかりと巻く。両端のラップを
ねじり。
⑪巻き終わりを下にして、ねじった両端を入れ込
んで耐熱皿に置く。電子レンジ(600W)で
1分半、返してさらに1分半加熱する。
⑫ピンク色で火が通っていない部分があれば、
その部分を下にして30秒程度再加熱する。5分程
置いて落ち着かせる。
⑬ラップをはずして1.5cm幅に切り、⑧のト
マトソースの上に乗せる。
⑭お好みでパセリを添え、さっとオリーブオイ
ルをかけて完成。
レシピの特徴
チーズのなめらかさを楽しめるレシピです。
調理はレンジにおまかせで簡単。パーティ映え
抜群なので、おもてなし料理にもオススメです。

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、
相互連携協定を結び、食農教育・社会貢献活動を展開しています!

●コンサ・土・農園



●よい食JA親善大使

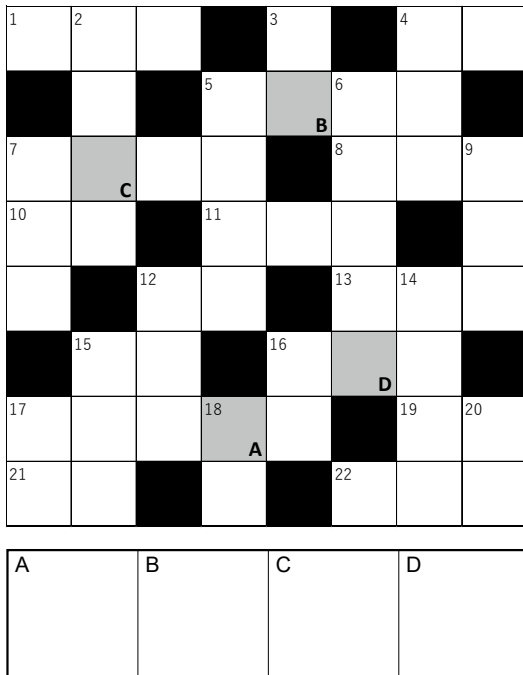


JAグループ北海道は、「コンサ・土・農園」や「よい食JA親善大使」を通じて、
北海道コンサドーレ札幌とともに、食の重要性を幅広く発信しています。

JAグループ北海道

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



4月号の正解は

「ランドセル」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 宮田 美加 様
深川市 田村 順子 様
北竜町 高畑ツヤ子 様

【タテのカギ】

- 2 やり方があまりにひどいさま。むごたらしい様子
- 3 3.1415926...=円周○○
- 4 ネット越しにラケットでボールを打ち合う競技
- 5 実際には存在しないのに実在するように見えるもの。幻影
- 6 無理に我慢して、平気なふりをする
- 7 水分を良く吸い取る厚手の綿織物
- 9 自分の持っているお金。自分のお金で支払うこと
- 12 貸し付け。貸付金。「住宅○○○」
- 14 コンピューターでマウスのボタンを押してすぐに離すこと
- 15 野と山。野や山。
- 16 値打ちのある金属で、非常に重く、黄色いつやを持つもの
- 17 その時々につけられた物の値段
- 18 今日の朝
- 20 種子から芽を出して、まだ日の経ってない植物

【ヨコのカギ】

- 1 その人がその場にいないこと
- 4 仏像をまつり、坊さんが修行したり、仏事を行う所
- 5 松の幹から分泌される粘り気のある樹脂
- 7 タコを捕まえるためのつば
- 8 背骨の通っている縦の筋。「○○○をのばす」
- 10 一万の一万倍
- 11 映像を記録すること。また記録した映像
- 12 液体に含まれる沈殿物、不純物などをこすのに使う紙
- 13 寝る時頭を乗せるもの
- 15 英語で「いいえ」「いやです」などの否定の意味を持つ言葉
- 16 貸金・預金などにつく利子。利息。利子の割合
- 17 グー・チョキ・パーの形を出して勝ち負けを決める遊び
- 19 運動会の競技「○○引き」
- 21 米を炊いたり、湯を沸かししたりする金属製の道具
- 22 本を読んだり、物を書いたりするための平らな台

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切6月30日消印有効で当選者とクイズの答えは令和3年8月号に掲載します。

【送り先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号

JAきたそらち総合企画室企画広報課 FAXの場合は 0164-22-8611

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

五月俳句

●雨電俳句会

囀りや十人十色の絵画展
父母の遺影に声かけ桜餅
春日影落ちて動かぬ時計五時
春うらら梢の雀恋ダンス
春の土踏んで弥栄子に託す
一服の夫に寄り添い春の猫
野菜苗春の陽差しに右向け右

●「道」俳句会 北竜支部

危くも淘汰されずに余り苗
遠嶺の白銀初夏のダムの水
沈丁の香り揺れいるにわたずみ
思惑はありありと有り種おろし
日の本の宝物なり桜咲く
字足らずの日永一句を持ち歩く
母が呼ぶ桜しべ降る弘徳寺

●土筆俳句会

老い初めて居眠り癖の羽抜どり
なまくらな指よりころげ桜餅
新茶着き一人静かに聞き入れり
薄暑かな抱かれて散歩する仔犬
頂きの真白に蝦夷の春映ゆる
つらき世に初物の露食べており
四月朝意を決してのウォーキング
リース揺れ隣家の香来るバーベキュー
ふらここや伸びゆく息子見惚れをり

有田 茉莉
大林 アヤ子
北川 満江
小山 邦男
松本 五月
宮武 めぐみ
吉見 サヨ子
山本 玲子
山岸 正俊
阿部 れい子
吉尾 広子
山下 好晴
宮脇 美和子
佐藤 美智子
高尾 美津子
池田 美知
山川 輝子
南川 富美子
佐藤 英三子
滝口 富美子
菅原 優子
森田 裕美子
小橋 厚子

第5回理事会〈令和3年5月7日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. JAバンク基本方針に基づくJA財務モニタリングの報告について
6. 固定資産の修繕について
7. 職員の人事及び業務事故について
8. 農作業アルバイトについて
9. 第7次農協経営計画の第一年度（令和2年度）の実践状況について
10. 営農センター増築工事、ホクレンショッパイチェーン店改修工事に係る入札結果について
11. 営農センター増築工事に係る起工式の開催について
12. 貸出金の貸付報告について
13. クミカン貸越極度額の設定について

- 議案第1号 令和2年度決算監査に対する回答について
 議案第2号 令和3年度コンプライアンス・プログラムについて
 議案第3号 出資金の持分譲渡について
 議案第4号 信用事業及び財産の状況に関する説明書類の縦覧について

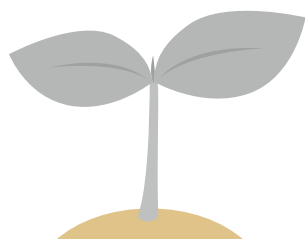
1. 令和3年産米の取扱いについて
2. 令和3年産「玄そば」の取扱いについて
3. 令和3年産農産物予約前渡金及び概算金について

14. 令和3年産米の「生産の目安」並びに「緊急深堀り対策」の取組み状況について
15. 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業の採択結果について
16. 令和3年度JAきたそらちスマート農業技術研究会実証実験について
17. 令和3年度「カレッジあみていえ」受講生とカリキュラムについて
18. 令和3年度「北育ち元気塾」受講生とカリキュラムについて
19. 令和3年3月営農懇談会意見・質問報告について
20. 米在庫状況について
21. 畜産物の販売実績について
22. 青果・花き集荷販売実績について
23. 経済部事業実績について

- 議案第5号 FinTech企業等との連携及び協働に係る方針について
 議案第6号 共済規程の一部変更（付議済み）に係る農林水産省からの「変更理由書」の修正指示について

組合員の動き (令和3年4月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,339	10	18	1,331
	団体	91	3	0	94
准組合員	個人	5,703	27	18	5,712
	団体	274	1	0	275
正組合員戸数		959	4	13	950



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和3年4月実績

○累計（R2.12～R3.4）

発電電力 **64,082kWh**

発電電力 **171,764kWh**

計画対比 + 8,138kWh

計画対比 + 42,204kWh

前年対比 + 2,211kWh

前年対比 △ 21,143kWh

